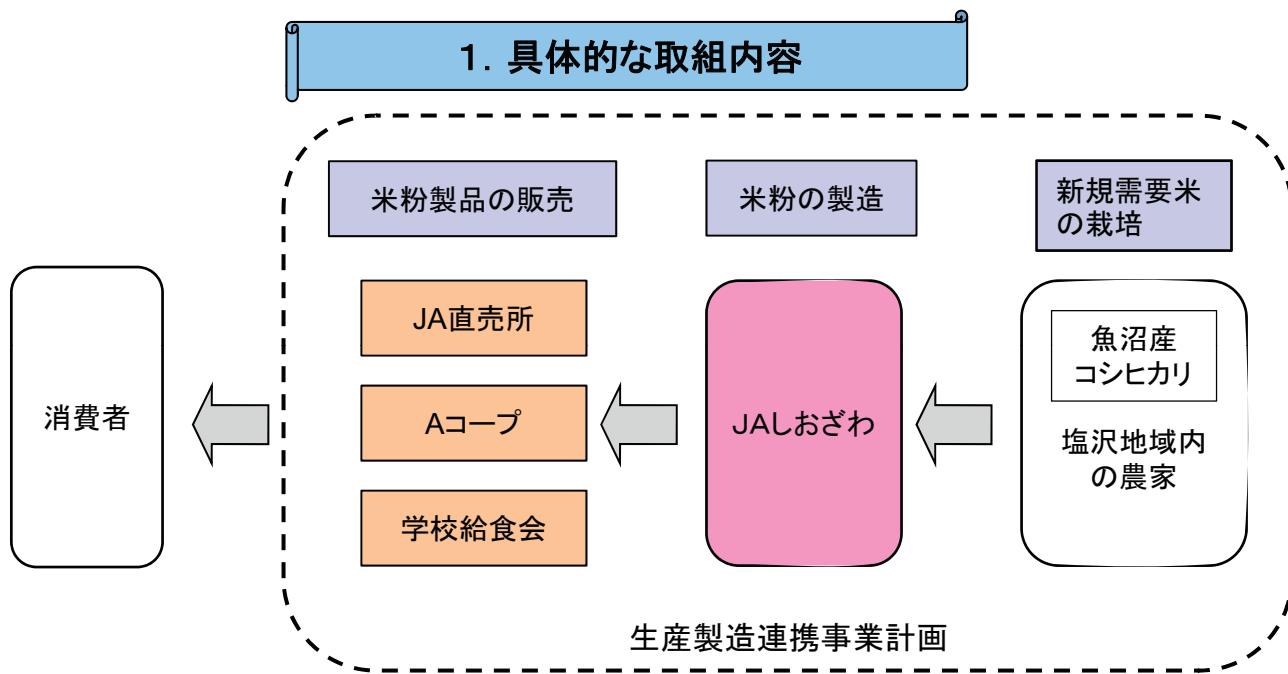


人材育成	集落コミュ	特產品の活用	都市農村交流	定住促進	バイオマス	農商工連携	地産地消	企業参入
		○					○	

名称	新規需要米を利用した米粉製品の製造・販売
所在地	新潟県南魚沼市塩沢
連絡先	TEL025-782-4688 JAしおざわ 営農部 米穀課長

魚沼産コシヒカリで米粉の製造・販売による地域活性化

地域農業の活性化として、米の需給拡大と地域の特產品として米粉を活かして行きたいと考えています。具体的には、米の需給拡大、生産調整に取り組む一つの手法として、米粉用米の作付け推進を行い、米粉の増産と米粉を活用した特產品の開発を進め、米粉の有効活用の研究開発と普及推進を図るとともに、市、関係機関と連携をとり米粉パンなどを学校給食へ提供するなどの活用により、米粉の普及拡大を図ることとしています。



導入事業	・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
活用している地域資源	・新規需要米

3. 取り組みの経緯

○活動のきっかけ

当該地域は、中山間地域を中心に農業従事者の高齢化、後継者不足が深刻な課題となっており、地域農業の基幹作物である米は米価の低迷、消費減少等の要因から農業所得の確保が困難な状況にありました。その中で、米粉の普及促進や米菓企業、学校給食事業者による需要ニーズが高まっていることを捉え、地域の活性化として米粉の加工処理施設を整備することとした。



<米粉製粉機>



<米粉製造施設>



<米粉製品>



<米粉製品>

4. 期待される地域経済への効果等

- ・地元の飲食店等において米粉による商品の加工、販売によって収益の向上をはかることが出来た。

5. 取り組む上で苦労した点、よかつた点

- ・粗めの粉のため、麺とパン業者からは受け入れが難しかった。
- ・麺についてはイベント時の商品化されたが、パンについては断られた。
- ・天ぷら粉、菓子類では多少の問題はあったが受け入れ易く、地元コシヒカリ米粉という話題性もあり地域の方から喜んでいただいた。